

東工大研第11-82号

平成26年2月5日

大学院生命理工学研究科

准教授 田川 陽一 殿

東京工業大学長

三 島 良 直



動物実験計画の変更の承認について（通知）

平成26年1月10日付けで申請のありました下記取組（承認番号：2009024）について、東京工業大学動物実験等管理規則第13条第2項に基づき、実験計画の変更を承認します。

記

研 究 課 題 名：「幹細胞の移植実験による臓器形成メカニズムの解明」

変更の承認番号：2009024-5

承 認 期 間：承認日（2014/2/5）～2015/3/31

以上

【事務担当】

研究推進部

研究企画課総務・管理グループ

小寺、竹居、堀田、安東、濱田

内線：3802、7016、7018、3805

東工大研第 11-22 号
平成 24 年 6 月 12 日

大学院生命理工学研究科
田川 陽一 殿

東京工業大学長
伊 賀 健



動物実験計画の変更の承認について（通知）

平成 24 年 4 月 13 日付けで申請のありました下記取組（承認番号：2009024）
について、東京工業大学動物実験等管理規則第 13 条第 2 項に基づき、実験計
画の変更を承認します。

記

研 究 課 題 名：「幹細胞の移植実験による臓器形成メカニズムの解明」
変更の承認番号：2009024-4
承 認 期 間：承認日（2012/6/12）～2015/3/31

以上

【事務担当】

研究推進部

研究企画課総務・管理グループ

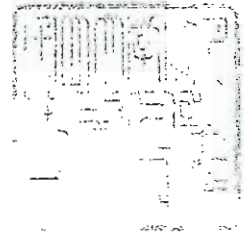
松永、乙津、武藤、濱田

内線：3802、7016、7223

平成22年4月15日

大学院生命理工学研究科 准教授
田川 陽一 殿

東京工業大学長
伊 賀 健 一



動物実験計画の（変更）・追加）の承認について

承認番号2009024の動物実験計画について、実験計画の変更を東京工業大学動物実験等安全管理規則第18条第2項に基づき承認します。

【事務担当】

研究業務課 総務・研究安全グループ

内線：3802、7223

松永 島田

平成21年10月13日

フロンティア研究センター 准教授
田川 陽一 殿

東京工業大学長
伊 賀 健 一



動物実験計画の追加の承認等について

承認番号2009024の動物実験計画について、実験計画の追加を東京工業大学動物実験等安全管理規則第18条第2項に基づき承認します。

【事務担当】

研究業務課 総務・研究安全グループ

内線：3802, 7223

記入欄 ☐ 委員会 ☐ 部局委員会	審査終了: 20(09)年 5月20 日
	修正意見等
	審査結果 ☒ 本実験計画は、国立大学法人東京工業大学動物実験等管理規則等に適合する。 (条件等 ☐ 遺伝子組換え実験等安全委員会の承認後、実験を開始すること。) ☐ 本実験計画は、国立大学法人東京工業大学動物実験等管理規則等に適合しない。
学長承認欄	承認: 20(09)年 5月26 日 本実験計画を承認します。 承認番号: 第 2009024 号 東京工業大学学長 

東工大研第11-82号

平成26年2月5日

大学院生命理工学研究科

准教授 田川 陽一 殿

東京工業大学長

三 島 良 直



動物実験計画の変更の承認について（通知）

平成26年1月10日付けで申請のありました下記取組(承認番号:D2012019)について、東京工業大学動物実験等管理規則第13条第2項に基づき、実験計画の変更を承認します。

記

研 究 課 題 名：「肝障害モデルマウスを用いた肝機能改善／肝保護物質の作用機構の解明」

変更の承認番号：D2012019-2

承 認 期 間：承認日（2014/2/5）～2016/3/31

以上

【事務担当】

研究推進部

研究企画課総務・管理グループ

小寺、竹居、堀田、安東、濱田

内線：3802、7016、7018、3805

想定される苦痛のカテゴリー (選択項目を■)	☐ B. 脊椎動物を用い、動物に対してほとんどあるいはまったく不快感を与えないと思われる実験。 ☐ C. 脊椎動物を用い、動物に対して軽度のストレスまたは痛み(短時間持続するもの)を伴うと思われる実験。 ☒ D. 脊椎動物を用い、回避できない重度のストレスまたは痛み(長時間持続するもの)を伴うと思われる実験。 ☐ E. 無麻酔下の脊椎動物に、耐えうる限界に近い またはそれ以上の痛みを与えると思われる実験。
動物の苦痛軽減、排除の方法 (該当項目をすべて■)	☐ 1. 短時間の保定・拘束および注射など、軽微な苦痛の範囲であり、特に処置を講ずる必要はない。 ☐ 2. 科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在せず、処置できない。 ☒ 3. 麻酔薬・鎮痛薬等を使用する。 (具体的な薬名及びその投与量・経路を記入: イソフルラン 1～3% 吸入) ☒ 4. 動物が耐えがたい痛みを伴う場合、適切な時期に安楽死措置をとるなどの人道的エンドポイントを考慮する。 ☐ 5. その他(具体的に記入:)
安楽死の方法 (該当項目をすべて■)	☐ 1. 麻酔薬等の使用(具体的な薬名及びその投与量・経路を記入:) ☐ 2. 炭酸ガス ☒ 3. 中枢破壊(具体的に記入: 頸椎脱臼 法) ☐ 4. 安楽死させない(その理由を記入:)
動物死体の処理方法 (選択項目を■)	☒ 1. 外部業者に依頼 ☐ 2. その他(具体的に記入:)
その他必要または参考事項	(過去の動物実験計画書承認実績、学内の関連委員会への申請状況、飼養保管施設・実験室の承認状況などを記入する。) ・肝臓モデルマウスの作成および保蔵物質の評価は、肝臓モデルマウスを用いた肝臓改善/肝臓保護物質の作用メカニズムの解析(承認番号 2010014, 2010 年 12 月 24 日～2013 年 3 月 31 日)にて承認され、終了した。 ・IL-6KO マウスに関する遺伝子組換え実験承認済みである(IL-6 ノックアウトマウスを利用した研究 承認番号 10054)

委員会記入欄	審査終了: 20(13)年 3 月 23 日
	修正意見等 1)誤字: 2ページ2行目:患一肝、2ページ12行目:東洋→投与、2ページ14行目:資料→飼料、2ページ21行目:得手→得て 修正意見に対する回答及び委員会の確認は、別途「承認(条件付き)に対する回答書」に記す。 本計画書は、委員会の修正意見等を踏まえ、申請者が該当箇所について修正対応済みである。
	審査結果 ■ 本実験計画は、国立大学法人東京工業大学動物実験等管理規則等に適合する。 (条件等 ☐ 遺伝子組換え実験等安全委員会の承認後、実験を開始すること。) ☐ 本実験計画は、国立大学法人東京工業大学動物実験等管理規則等に適合しない。

学長承認欄	承認: 20(13)年 4 月 24 日
	本実験計画を承認します。 承認番号: 第 D2012019 号 東京工業大学長



	審査結果 ■ 本実験計画は、国立大学法人東京工業大学動物実験等管理規則等に適合する。 (条件等 ☐ 遺伝子組換え実験等安全委員会の承認後、実験を開始すること。 ☐ 麻薬研究者免許取得後、実験を開始すること。 ☐ 向精神薬試験研究施設設置者登録及び使用・保管する建物・部屋の申請後、実験を開始すること。 ☐ 本実験計画は、国立大学法人東京工業大学動物実験等管理規則等に適合しない。
学長承認欄	承認: 平成 27 年 8 月 18 日
	本実験計画を承認します。 承認番号: 第 D2015009 号 東京工業大学長

